

Y18c 「あかり」データアーカイブプロジェクトの現状(2)

山村一誠 (ISAS/JAXA)、「あかり」プロジェクト

赤外線天文衛星「あかり」の残した貴重なデータが天文学研究においてより有効に活用されるため、われわれはデータ処理・解析・アーカイブ活動を進めている。「あかり」の衛星プロジェクトは昨年度末に終了し、4月からは「あかりデータ処理・解析チーム」という新しい体制で、この事業に取り組んでいる。このチームの活動期間は5年で、最初の3年間はデータ作成期間、後の2年はメンテナンス期間と位置づけられている。

本活動では、「あかり」の全天サーベイからのカタログ改訂版の作成、全天イメージマップに加え、指向観測のデータを可能な限りすべて処理し、天文学的解析がすぐに行えるデータとしてアーカイブすることを目標としている。また、独自の視点で大規模な系統的解析を行ったユーザーによるデータについても、公開の窓口となっている。

現在、それぞれのデータの作成が粛々と続けられている。ポスターでは、各プロダクトの作成状況、評価状況等を報告するほか、活動への参加も呼びかける。